12,カエデ科の巨木 Aceraceae

■カエデ科の巨木は以下に分類する。

A　イロハモミジの巨木
B　オオモミジ・ヤマモミジの巨木
C　イタヤカエデの巨木
D　オオイタヤメイゲツの巨木
E　ハナノキの巨木
F　メグスリノキの巨木

12-A イロハモミジの巨木 カエデ科カエデ属 Acer palmatum

■イロハモミジの巨木評価基準

A　幹周おおむね 5m 以上の単幹樹、同等評価のイロハモミジの巨木。
B　幹周おおむね 3〜5m の単幹樹、同等評価のイロハモミジの巨木。
C　B 評価以下のイロハモミジの巨木。

■主なイロハモミジの巨木位置図

■主なイロハモミジの巨木

2015 年現在

評価　AA 国指定特別天然記念物級　A 国指定天然記念物級　B 都道府県指定天然記念物級　C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹　周	樹高	所　在　地	天然記念物指定
A	領家のモミジ 写真　IM-001	M5.17m(1.3m 2008)	15m	岐阜県郡上市大和町栗巣字下栗巣	県
A	益山寺の大カエデ 写真　IM-002	M4.9m(1.3m 2006)	17m	静岡県伊豆市堀内	県
A	中釜戸のシダレモミジ 写真　IM-003	3.8m	7m	福島県いわき市渡辺町中釜戸字猿田	国
B	一関のイロハモミジ 写真　IM-004	M4.85m(1.3m 2008)	18m	岩手県一関市萩荘字館山 4	市
B	延命寺の夕照モミジ 写真　IM-005	5.0m	9m	大阪府河内長野市神ガ丘	府
B	運源寺の大カエデ 写真　IM-006	M3.85m(1.3m 2008)	18m	富山県高岡市滝	県
B	西慶寺のヤマモミジ 写真　IM-007	M4.2m(分岐 0.3m 2008)	15m	石川県輪島市門前町谷口	県
B	古知谷のカエデ 写真　IM-008	3.72m	18m	京都府京都市左京区大原古知谷平町	市
B	梨久保のカエデ 写真　IM-009	M3.85m(1.3m 2015)	15m	茨城県日立市入四間町梨久保	なし
B	加茂神社のモミジ(右株) 写真　IM-010	M3.3m(1.3m 2008)	16m	宮城県仙台市泉区古内字糺	県
B	豊邦のカエデ 写真　IM-011	株周 M4.0m(0.2m 2005)	18m	愛知県北設楽郡設楽町豊邦字桑平	なし
B	荒谷のイロハモミジ(古株) 写真　IM-012	M3.6m(分岐 0.5m 2008)	7m	岩手県奥州市前沢区生母字荒谷	町
B	〃　(新株) 写真　IM-013	M3.0m(1.3m 2008)	7m	〃	町
B	大悲王院のカエデ 写真　IM-014	2.3m	8m	福岡県糸島市雷山 626	県
B	青埴神社のシダレモミジ 写真　IM-015	M2.4m(1.3m 2008)	9m	静岡県伊豆市青羽	県
B	寛城のカエデ 写真　IM-016	M2.9m(1.3m 2008)	15m	山梨県大月市七保町林	市
B	天日陰比咩神社のカエデ 写真　IM-017	株周 M1.85m(0.5m 2006)	8m	石川県鹿島郡中能登町二宮	町
B	足羽神社のタカオモミジ 写真　IM-018	M3.29m(分岐 1m 2008)	12m	福井県福井市足羽町	市
B	小中町のモミジ 写真　IM-019	4.1m	18m	茨城県常陸太田市小中町	市
B	小貫のイロハモミジ 写真　IM-020	3.9m	18m	栃木県芳賀郡茂木町小貫	県
B	弁天様のモミジ 写真　IM-021	3.7m	20m	茨城県常陸太田市赤土町	なし
B	素鵞神社のイロハモミジ 写真　IM-022	3.2m	不明	茨城県常陸大宮市下町	なし
B	津島神社の七色木 写真　IM-023	株周 M5.55m(1.3m 2015)	20m	愛知県豊田市市平町西 8	市
B	荘厳寺のイロハモミジ 写真　IM-024	3.1m	12m	宮城県仙台市青葉区新坂町 12-1	なし

評価	巨木名称	幹　周	樹高	所　在　地	天然記念物指定
B	八雲神社のイロハモミジ 写真　IM-025	M3.8m(0.5m)	8m	岩手県奥州市水沢区羽田町字粟ノ瀬21	市
B	正龍寺の玉垂の楓(二株) 写真　IM-026	0.7m　0.6m	4.6m	埼玉県大里郡寄居町藤田101-1	県
B	かえで橋のイロハモミジ 写真　IM-027	不明	不明	三重県伊賀市神阿波 子延川渓谷	なし
B	西善寺のコミネカエデ 写真　IM-028	2.8m	8m	埼玉県秩父郡横瀬町横瀬	県
C	金沢城本丸跡のタカオモミジ 写真　IM-029	M2.6m(1.3m 2009)	15m	石川県金沢市 金沢城公園本丸址	なし
C	秋津小学校のイロハモミジ 写真　IM-030	3.6m	13m	長野県飯山市静間	市
C	雲龍寺のカエデ 写真　IM-031	分岐 4.0m	13m	埼玉県秩父郡小鹿野町伊豆沢	なし
C	白根町のカエデ 写真　IM-032	4.0m	21m	山梨県南アルプス市百々3187	県
C	先谷のモミジ	3.6m	8.2m	岐阜県関市上之保先谷	町
C	小船禅燈寺のイロハモミジ 写真　IM-033	4.2m	11m	三重県熊野市紀和町小船	なし
C	槻之河内のイロハモミジ 写真　IM-034	2.4m	20m	宮崎県日南市北郷町北河内	なし
C	加江田のイロハモミジ 写真　IM-035	2.5m	20m	宮崎県宮崎市加江田 知福川上流	なし
C	大古屋のイロハモミジ 写真　IM-036	2.5m	10m	広島県庄原市東城町内堀大古屋	市
C	名色のイロハモミジ 写真　IM-037	3.38m	不明	兵庫県豊岡市日高町色名	県
C	東陽寺のイロハモミジ 写真　IM-038	2.21m	17.6m	千葉県我孫子市根戸357	なし
C	光闡坊のカエデ 写真　IM-039	M2.04m(1.3m 2009)	13m	石川県加賀市山田町	なし
C	赤埴の大カエデ 写真　IM-040	2.0m	15m	奈良県宇陀市榛原赤埴	なし
C	五鹿屋の大カエデ 写真　IM-041	2.2m	5.2m	富山県砺波市五郎丸 農村公園	なし
C	加茂神社のモミジ(左株)	M2.35m(1.3m 2008)	15m	宮城県仙台市泉区古内字糺	県
C	福金稲荷のイロハモミジ 写真　IM-042	M3.8m(分岐 0.7m 2008)	13m	山形県新庄市上金沢町	なし
枯死	萬徳寺の大モミジ 写真　IM-043	3.6m	25m	福井県小浜市金屋	国
枯死	天王山の大モミジ 写真　IM-044	3.65m	17m	岐阜県恵那市上矢作町小田子464	市
枯死	竹野のカエデ 写真　IM-045	3.8m	18m	宮崎県東諸県郡綾町大字北俣竹野	

写真　IM-001

日本一のイロハモミジ

領家（りょうけ）のモミジ

日本一のイロハモミジで、A 評価である。この地はかつて領家の墓所で、根元は石で囲われ、積み石を巻き込んで成長している。墓標として植えられたもの。地上 2m で 4 分岐し、山側の幹は交差するように立ち上がり、谷川の幹は下の小屋まで垂れ下がる。樹勢に衰えははとんど見られない奇跡のモミジである。(下写真・全景)

写真　IM-002

単幹日本一のイロハモミジ

益山寺（ましやまでら）の大カエデ

このイロハモミジも A 評価である。「領家のモミジ」「益山寺の大カエデ」共に甲乙付けがたい魅力があり、日本一を二本とした。県道から車一台ようやく通過できる程狭い林道のような道を延々と登っていくと、寺の真下の狭い駐車場に到着する。目指すモミジは石段を登った境内、本堂前にある。主幹は凹凸が激しく、古木を感じさせる風格がある。地上 5m で 5 分岐する見事なカエデの単幹樹である。主幹は谷側に斜上し、全体が帚のようになって傾き、主幹の見事さは他に比較するものがない程豪快である。(下写真・全景)

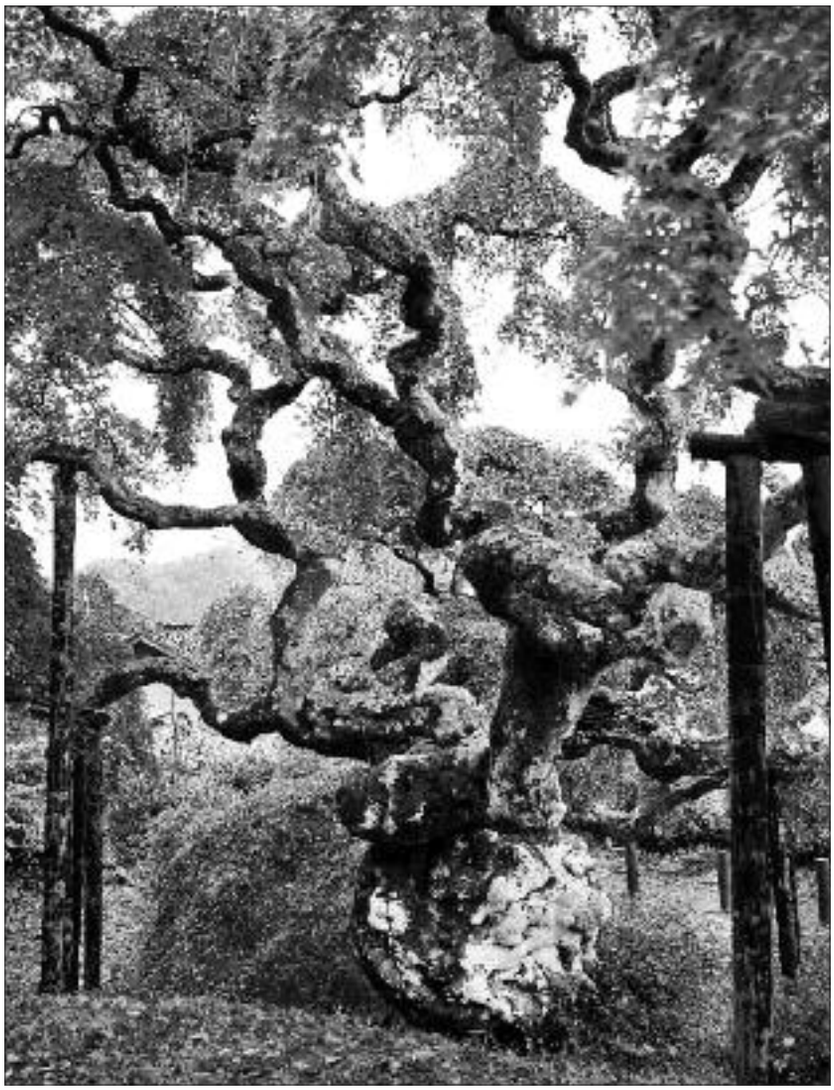


写真　IM-003
日本一のシダレモミジ

中釜戸（なかかまど）のシダレモミジ

観音堂境内に二株あり、本樹は大きい方で、地上 1.5m で３分岐、主幹はコブが多く古色蒼然とし、捩れ、先端の枝は枝垂れ、見事な樹形を呈している。シダレモミジの中でも、幹も巨大で姿もよい希有な存在であることから、A 評価である。

(下写真・本樹は左で、右にも匹敵するシダレモミジがある。)

◀写真　IM-004

一関（いちのせき）のイロハモミジ

長泉寺近くの山中、古い館跡の台地に立つが、道もなく周辺は荒れている。幹周を考えると A 評価も視野に入るカエデであるが、保護状態が悪化しているので見送った。

▼写真　IM-005

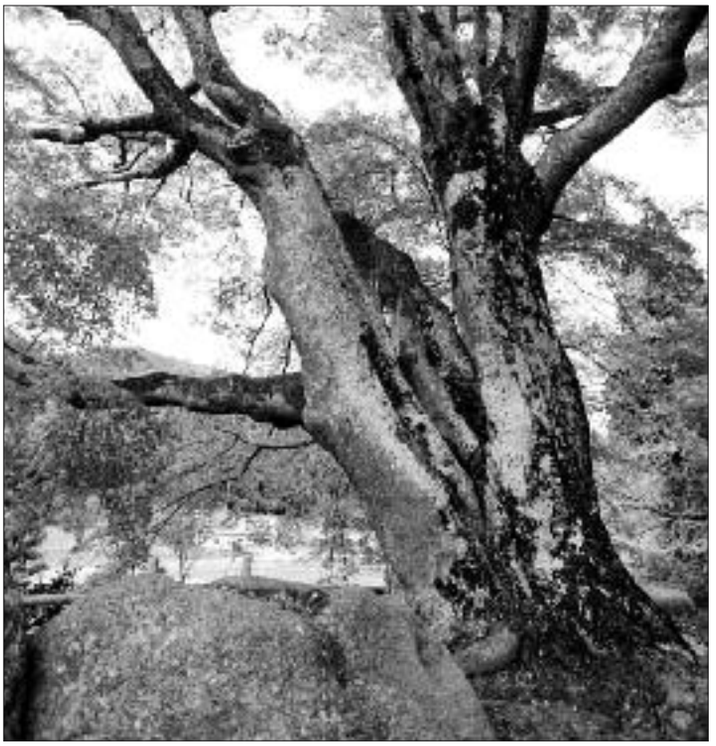
延命寺（えんめいじ）の夕照（ゆうばえ）モミジ

山門を入った右手崖の上に寝るようにして伸びるイロハモミジの老木。根元近くで２分岐し、双方とも水平に伸び、途中から伸びた枝が真上に伸び、主幹先端部の枝は崖下に伸びる。幹周の測定方法は不明。
(写真・谷田元彦)

▲写真　IM-006

運源寺の大カエデ

寺の中庭の中心に聳えるようにして立つ巨大なカエデ。11 月下旬の紅葉が見事で、寺の前から見ると、寺が燃えているように見える程の衝撃がある。



▲写真　IM-007

西慶寺のヤマモミジ

境内の端に立ち、根元近くで 3 分岐し、西に大きく傾いて枝葉を垂れるように伸ばす。まだ若い巨木で、樹勢がよい。ヤマモミジとの記載だが、樹種はイロハモミジである。
(寺から 50 年程前に嫁いだ娘さんの話によれば、当時両手で抱えられる程の太さしかなかったとの事。)

写真　IM-009▶

梨久保のカエデ

地元の神を祀る神域に 2 本のカエデがあり、祠の真上に立つ本樹が大きい。5m で 2 分岐し、大きく枝葉を広げる堂々とした樹形である。

▼写真　IM-008

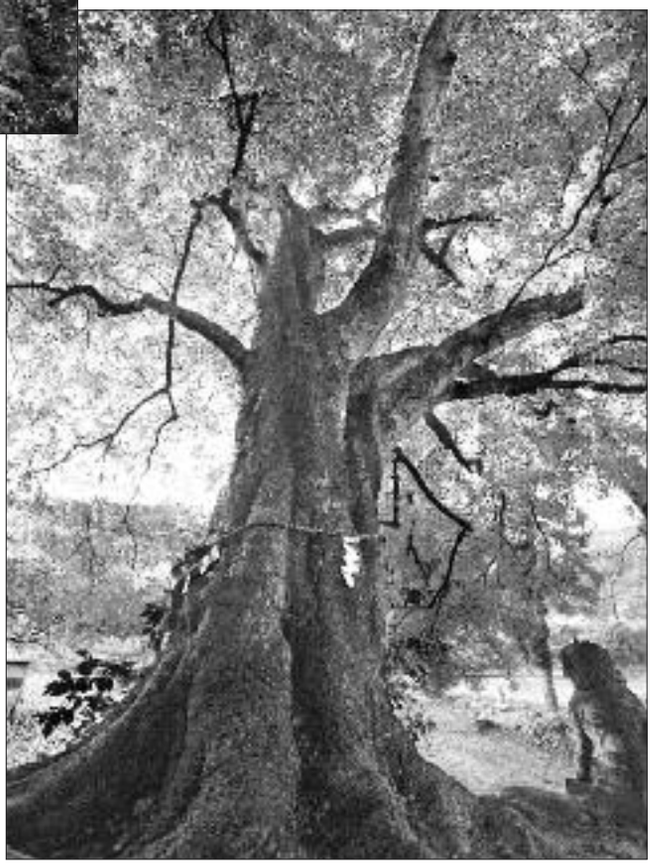
古知谷のカエデ

阿弥陀寺の長い参道左手、山側の斜面に立ち、上部で 4 分岐する樹形。

▼写真　IM-010

加茂神社のモミジ(右幹)

神社参道入口に二本並んで立ち、本樹は右幹。樹勢がよく、紅葉が美しい。



▲写真　IM-011

豊邦(とよくに)のカエデ

桑平集落奥の山際に立つイロハモミジの巨木であるが、根元で３分岐して立上がる樹形。巨大だがまだ若いようだ。周辺に墓石が十数基あることから、墓標として植えられたものだろう。

▲写真　IM-012

荒谷(あらや)のイロハモミジ(古株)

この古木は地上 1.2m で３分岐し、一本は枯れ、満身創痍の状態である。地元旧家の庭に立つ。右新株と同じ庭内。

▼写真　IM-013

荒谷(あらや)のイロハモミジ(新株)

古株と同じ庭内にあり、こちらは樹勢もよく、紅葉も美しい。

▲写真　IM-014

大悲王院(だいひおういん)のカエデ

見事な枝ぶりのイロハモミジで、紅葉が美しく、訪れる人が多い名楓である。(写真・Web 画像)

写真　IM-015▶

青埴(あおはね)神社のシダレモミジ

神社参道石段の右手、高さ 4m 程の石垣の上に立ち、大きく石垣に沿って垂れる姿は壮観である。紅葉は 12 月中頃になる。

▲写真　IM-016

寛城（ゆるぎ）のカエデ

県道から細い道を登ると、樹下に小さな祠がある大きなカエデが聳える。主幹は苔むし、コブが多く老樹らしい雰囲気である。

▲写真　IM-017

天日陰比咩（あまひかげひめ）神社のカエデ

古く格式のある神社社務所前庭にあり、別名「龍髭楓」と言われている仕立て松のような珍しいカエデ。根元で２分岐し、幹が水平に南に 10m、西に 6m も伸び、巨大な龍が横たわるような樹形。

写真　IM-018▶

足羽（あすわ）神社のタカオモミジ

タカオモミジはイロハモミジの事で、神社参道石段の中央に立つ珍しい立地。1.3m で２分岐する古木である。

▲写真　IM-019

小中町（こなかまち）のモミジ

(写真・石田徹)

▲写真　IM-020

小貫（おぬき）のイロハモミジ

(写真・石田徹)

写真　IM-021▶

弁天様（べんてんさま）のモミジ

(写真・石田徹)

◀写真　IM-022
素鵞(そが)神社のイロハモミジ
(写真・石田徹)

写真　IM-023▶
津島(つしま)神社の七色木(なないろのき)

4m でアラカシに着生したイロハモミジが根を下し巨大化した後、アラカシが枯死した、古株更新の珍しい樹形である。

▲写真　IM-024
荘厳寺(しょうごんじ)のイロハモミジ
(写真・Web 画像)

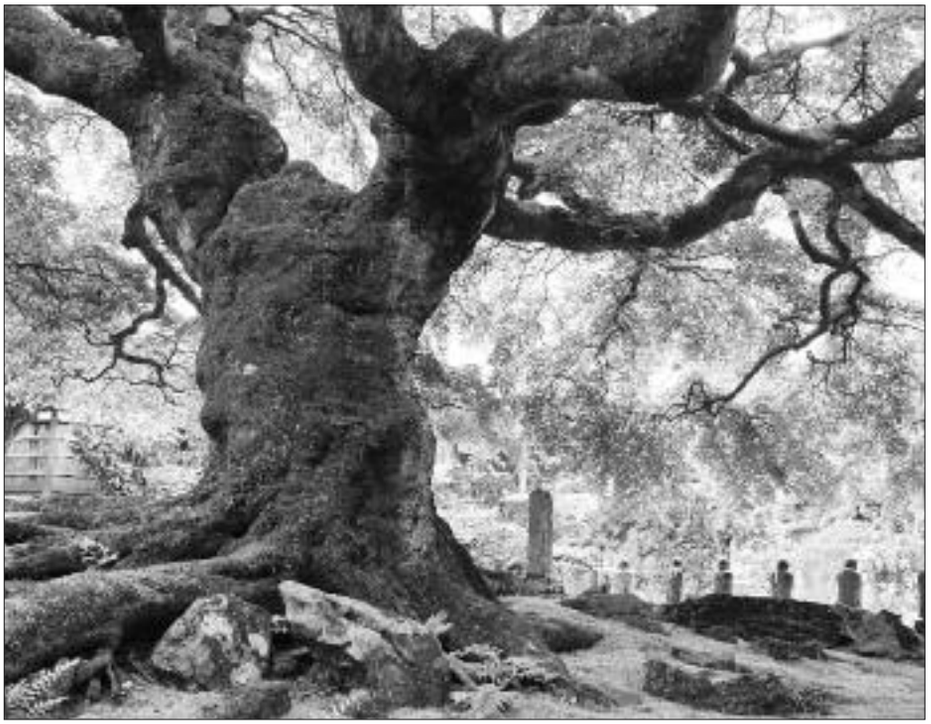
▲写真　IM-025
八雲(やくも)神社のイロハモミジ
(写真・Web 画像)

▼写真　IM-026
正龍寺(しょうりゅうじ)の玉垂(たまたれ)の楓(かえで)

樹齢 300 年の初代は昭和 60 年頃に枯れ、二代目が二本ある。珍しいシダレモミジで、樹冠が見事である。(写真・Web 画像)

▼写真　IM-027
かえで橋のイロハモミジ

霊山から旧大山田村へ向かう途中の渓谷沿いにあるもので、根元で数分岐して立上がる奇怪な樹形をしている。(写真・Web 画像)



▲写真　IM-028
西善寺（さいぜんじ）のコミネカエデ
　コミネカエデとの表記だが、樹種はイロハモミジである。境内の中央に立ち、枝ぶりが見事で、参拝者が絶えない。

▲写真　IM-029
金沢城本丸跡（かなざわじょうほんまるあと）のタカオモミジ
　タカオモミジはイロハモミジの事。金沢城公園の本丸跡に人知れず立つ。

▲写真　IM-030
秋津（あきつ）小学校のイロハモミジ
(写真・石田徹)

▲写真　IM-031
雲龍寺（うんりゅうじ）のカエデ
　根元近くで数分岐する樹形。(写真・Web 画像)

▲写真　IM-032
白根町のカエデ
　根元が破損して樹勢が弱っている。(写真・Web 画像)

◀写真　IM-033
小船禅燈寺（こぶねぜんとうじ）のイロハモミジ
(写真・Web 画像)

写真　IM-034▶
槻之河内（つきのかわうち）のイロハモミジ
(写真・Web 画像)